

景観づくり 制度について

景観地区 と 景観協定

【制度の概要】

- ・ 法的な拘束力を持つ制度です。
 - 1 建築や改修といった行為をする際、設計者はルール（ガイドライン）に基づいて設計
 - 2 設計の内容などを事前に届け出
 - 3 市や地域団体などが審査し、適合なら許可を出す（不適合の場合、変更指示等を出す）
 - 4 地域によっては、変更指示等従わなかった場合の罰則を規定することも
- ・ 景観地区＝自治体（市） が運営、 景観協定＝地域 が運営

【制度づくりの所要期間】

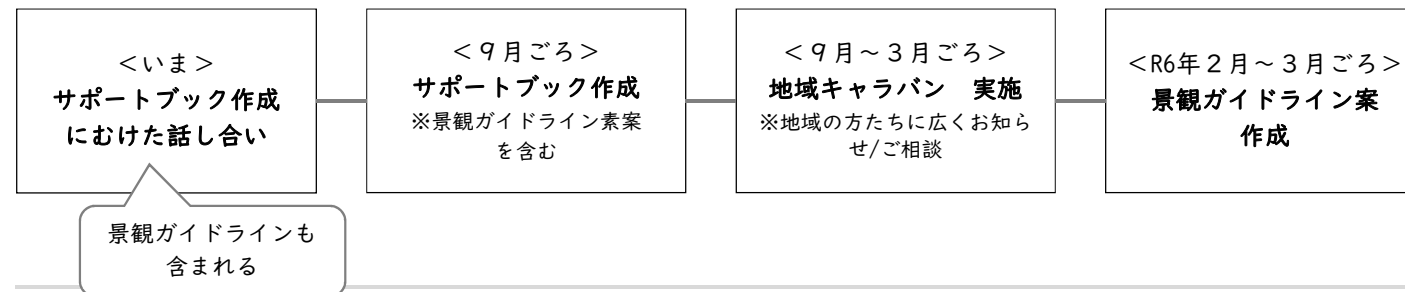
- ・ 制度づくり完了までは数年ほどかかる場合が多い。
（対象地域全体の合意が基本となるため、慎重に進める必要あり）

【既存の建物などはどうするのか？】

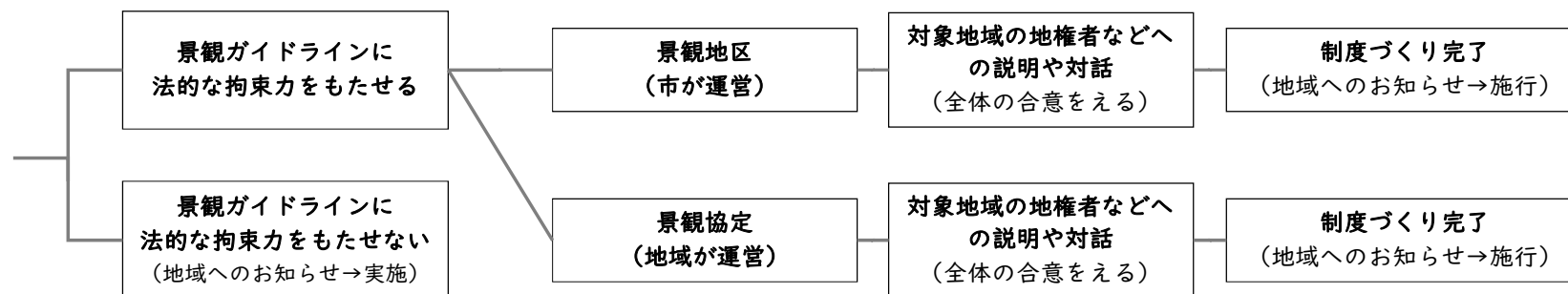
- ・ 制度の開始日以前からある建物などについては、対象外とする場合も多い。
（開始日以降に新築／改修するものを対象とする）

景観づくり 今後の進め方について

サポートブックの作成



制度づくり



今後、こうした方向性について、まずは関係者で話しあっていければと思っています。

まちなみの整備イメージと方向性

皆さんと一緒に、整備イメージの検討と方向性の共有を行いました



話し合ったこと

- 拠点の考え方
- 全体の回遊動線
- 休憩所・トイレの候補地

まちなみの構成要素

まちなみを作っていく要素を分解すると

資料01

まちなみを主にカタチづくるのは、2つの空間。

- ・住民や民間企業がつくる、セミパブリックスペース（私有の中間的な空間）
- ・行政がつくる、パブリックスペース（公有の空間）

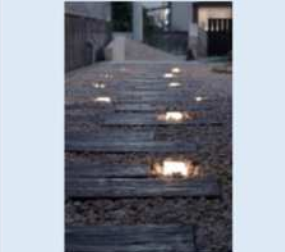


まち全体に影響を及ぼす要素について少しご紹介しました

色々な舗装（歴史性のある表現）

	石張舗装	インターロッキング舗装 (擬石舗装)	スタンプコンクリート舗装	アスファルト舗装
整備事例				
歩きやすさ	△：石が欠けることがある。 下駄の音が良く響く。	△：場合によってはたつきができる。 比較的下駄の音が良く響く。	△：多少の凹凸ができる。	○：歩きやすい。
見栄え	◎：上質感がある。	○：ブロックの種類が多数あり、石風の 仕上げもできる。	△：石張風の表現ができる。 テカリが出る等、どこことなく喰っぱい 仕上がりになる。	○：石張風の表現ができる。 時間が経つとひび割れができる。
補修 しやすさ	○：部分的に破損箇所を補修できる。	○：部分的に破損箇所を補修できる。	△：部分補修をすると境界が目立つ 色が剥げるとコンクリートの色が出る	△：部分補修をすると境界が目立つ
その他 コメント	部分的に石張にすることで、車道部と歩道 部を緩く区切り、車が走行しづらい。	比較的交通量の多い表町通りなどでは、路 面の欠損のリスクが高い。	温泉街の情緒ある表現にするのは難しい。	部分補修が生じた際に見栄えに影響が出る 可能性がある。

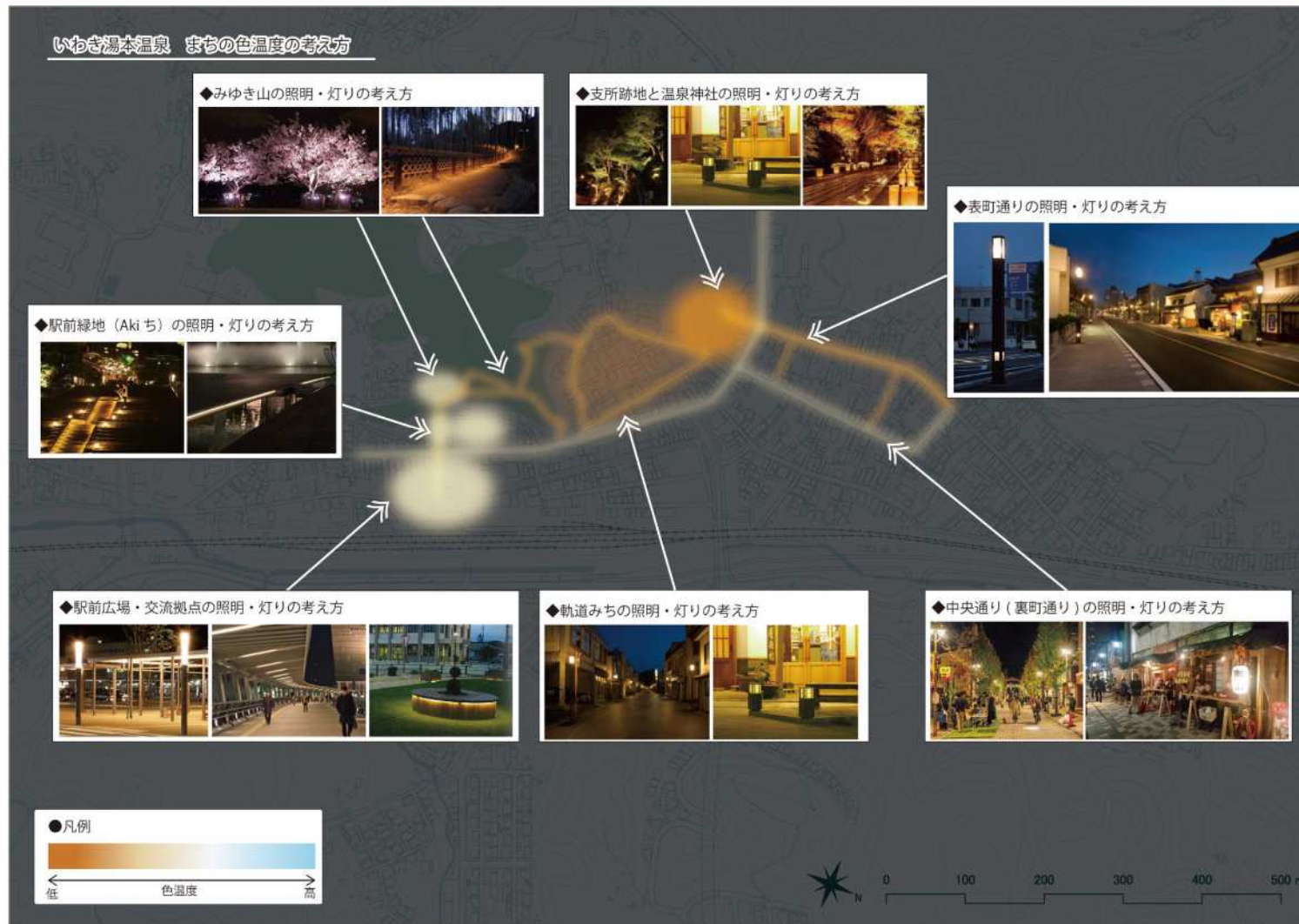
色々な照明・灯り

	照明灯	フットライト	スポットライト	埋込式照明	テープライト
整備事例	  	  	  	  	  
利用シーン	駅前広場、広幅員の道路空間等の安全性が必要なエリアでの利用	等間隔に設置することで、誘導効果を生む 照明灯が設置できない限られたスペース（路地空間）での設置が可能	湯けむりや植栽等の対象物にスポット的に照らすことで、シンボリックな演出ができる	バスシェルターの天井部、舗装、階段等に等間隔で埋めこむことで、誘導効果を生む	水路脇に設置することで、水路、湯けむりのライトアップが可能 線的に設置することで、誘導効果を生む ベンチに設置することで、安心感のある灯りを生み、滞留効果を強める
その他	照明灯のデザインがまちのイメージに大きな影響を与える ・行灯型の照明⇒和風 ・ポール型⇒都市的	照明灯と同様、デザインがまちのイメージに大きな影響を与える 汎用性が高い	ライトの向きを変更することができるため、ライトアップの微調整が可能	照度が高いと光害（グレア現象）が発生する	—

色々な照明・灯り

	看板	提灯	のれん	灯籠	豆電球
整備事例					
利用シーン	温泉旅館、各商店の店先やエントランス	イベント、祭事に店先や電線等に設置する	温泉旅館、各商店の店先やエントランス	水路脇に設置することで、水路、湯けむりのライトアップが可能 總的に設置することで、誘導効果を生む 軒下や路地空間等の限られたスペースに設置できる	イベント、祭事に店先や電線等に設置する
その他	看板にスポットライトする方法や内照式の看板によるライトアップの方法がある。	仮設性が高く、いわき湯本オリジナルの提灯を作成するなど、オリジナリティを出すことができる。	仮設性が高い 店先の照明がのれんを照らすことでゆらぎのある灯りを演出できる	仮設性が高く、各商店、旅館のロゴやデザインを踏襲しやすい	豆電球が安価

灯りの考え方



色々なサイン

	和風・歴史的	和モダン	アーバン・都市環境	その他（煉瓦造り）
整備事例				
周辺環境との調和	木造建築・施設との相性が良い 自然環境との調和がとりやすい 歴史的な街並みとの調和がとりやすい	歴史的な街並み、都市環境の両方と調和がとりやすい	周辺環境に溶け込みやすい 都市環境との調和がとりやすい	サイン自体が視対象になりやすく、目立つ 現在の湯本の街並みとの調和が困難
その他	JR湯本駅の駅舎や駅の看板等との調和がとりやすい	色彩、形状等の汎用性が高く、地域に合わせたデザインに変更できる 照明との組合せの事例もみられる	ガラス盤面にグラフィックやパターンを入れることが可能	常磐炭鉱（品川白煉瓦）の歴史性を表現することができる

まちなみに潤いを与えるみどりについて



▲事例:季節感(寺の蓮鉢)⇒蓮(共通コード)



▲事例:鉢植え+地植え(一皮)植栽



▲事例:旧市場リノベーション+鉢植え(列植)



▲事例:SHOP+マツ+低木地被+縁台



▲事例:公社貸与プランター+中木+腰掛け(青甕)



▲事例:水景色+地被植栽



▲事例:蓮(共通コード)+個性の組合せ



▲事例:軒先藤棚



▲事例:彼岸花+案山子通り



▲事例:橋詰ヤナギ+休憩スポット



▲事例:株立ち高木+地被+プランター+腰掛け



▲事例:蘇鉄+その他樹木組合せ+休憩所



▲事例:異国情緒の草花+郷土種の組合せ

前回の主な意見

- ・ 景観条例等を策定する場合、建物の内装も対象となるのでしょうか？
⇒ 建物の内装は対象となりません。建物の外装のみが対象となります。
- ・ 景観条例等を策定する場合、地域住民の合意形成について、どのような手続きが行われるのでしょうか？
⇒ 地域住民向けの説明会等を開催し、合意形成を図る必要があります。
- ・ 桜木町通りについても、まちの回遊動線の一部として検討するとよいと思います。
- ・ 石炭・化石館へ支所機能を移転するのはどうでしょうか？
⇒ 石炭化石館は今後も観光資源として活用していく方針です。
- ・ 表町通りを参道空間として整備する場合、交通量が多いため、歩行者の安全確保や渋滞緩和等の対応策が必要になると思います。
⇒ 特定の日時における交通規制等の施策等も考えていきたいです。
- ・ 三函地区全体の回遊性を高めるために、表町通り、裏町通り、桜木町通りをつなぐ路地空間の整備を検討するとよいと思います。